



水難救助訓練を実施

消防本部では、最近のアウトドアブームでの川遊び等による事故に備えて、5月21日から23日の3日間、栄山寺橋下の吉野川で水難救助訓練を実施しました。

「川が増水し中州に人が取り残された」「人が急流に流された」などの想定で、水難救助隊と地上支援隊とが連携し、負傷者を救出する訓練を行いました。

これからの季節は水辺でのレジャーが多くなりますが、水に近づくときには十分に気を付けてください。



ここがポイント

花火『ルールを守って楽しい花火』

夏は花火のシーズンですが、取り扱い上の不注意から火災などの事故が毎年多く発生しています。花火の正しい取り扱いを心がけましょう。

- 1 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
- 2 花火をするときは、水を用意し、大人と一緒にしましょう。
- 3 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のある場所で遊んだりしないこと。
- 4 一度にたくさんの花火に火をつけたり、花火をほぐして遊んだりしないこと。
- 5 打ち上げ花火など途中で火が消えても筒をのぞき込まないこと。



五條市消防本部 ☎22・3310

『土砂災害警戒情報』をご存知ですか？

■土砂災害警戒情報とは

気象警報と同じように、テレビの速報などで発表される『土砂災害警戒情報』は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が市町村単位で発表します。テレビやラジオを通じ、また市町村からも皆さんにお知らせします。土砂災害から「家族やあなたの生命」を守るため、がけ崩れなどの土砂災害危険箇所周辺に住んでいる人は、「早めの避難」の判断の目安として活用してください。

■土砂災害警戒情報等が発表されたら

斜面の状況に注意を払い、普段とは異なる状況(一般に「土砂災害の前兆現象」と言います)に気がついた場合には、周りの人と安全な場所に避難するとともに、市役所等に連絡してください。

日ごろから危険箇所や避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害警戒情報は、確実に土砂災害が起こることを前提として発表するものではありません。早めの自主避難の結果、何も起こらなかったということもあります。しかし、隣近所が避難していないから「大丈夫」ではなく、避難勧告などが出ていなくても、隣近所、声をかけあって早めに自主避難しましょう。

■問合先 庶務課生活安全係 ☎(内線236)